

STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	62270
組合名称	大阪金属問屋健康保険組合
形態	総合
業種	卸売業

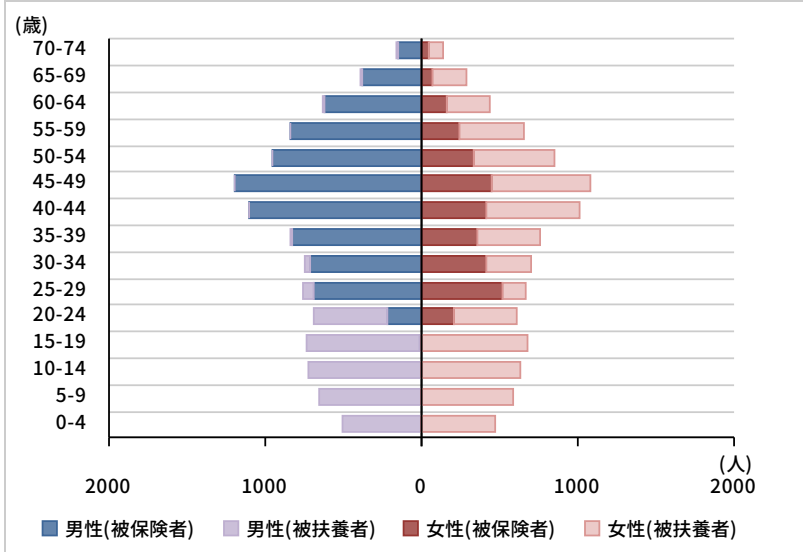
	平成30年度見込み	平成31年度見込み	平成32年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	10,900名 男性70.6% (平均年齢44.70歳) * 女性29.4% (平均年齢40.06歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保 険者数	0名	-名	-名
加入者数	20,489名	-名	-名
適用事業所数	249カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	313カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	100%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		平成31年度見込み		平成32年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	1	2	-	-	-	-
	保健師等	4	1	-	-	-	-
事業主	産業医	0	59	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	7,310 / 9,747 = 75.0 %	
	被保険者	6,213 / 6,827 = 91.0 %	
	被扶養者	1,098 / 2,920 = 37.6 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	421 / 2,105 = 20.0 %	
	被保険者	358 / 1,474 = 24.3 %	
	被扶養者	63 / 631 = 10.0 %	

		平成30年度見込み		平成31年度見込み		平成32年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	10,489,100	962,303	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	9,756,250	895,069	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	14,513,600	1,331,523	-	-	-	-
	疾病予防費	94,418,808	8,662,276	-	-	-	-
	体育奨励費	2,750,000	252,294	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	550,000	50,459	-	-	-	-
	小計 …a	132,477,758	12,153,923	0	-	0	-
経常支出合計 …b	5,489,255,000	503,601,376	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	2.41		-	-	-	-	

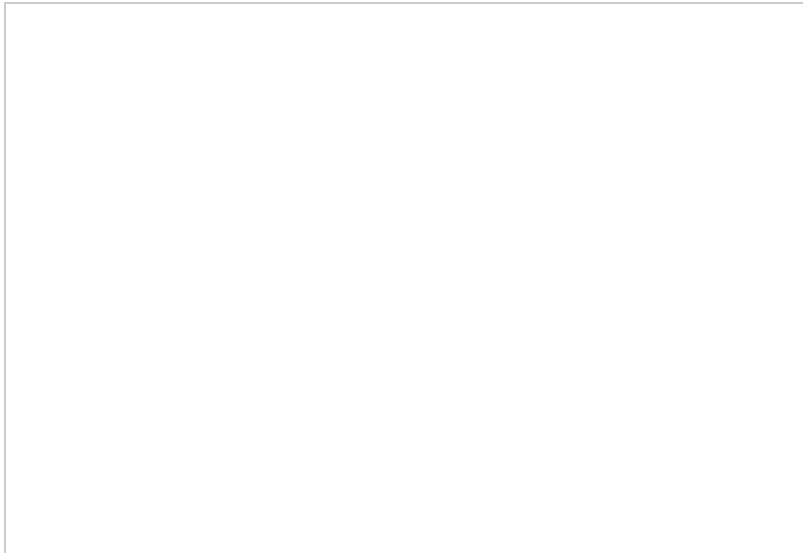
平成30年度見込み



平成31年度見込み



平成32年度見込み



男性（被保険者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	6人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	222人	25～29	690人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	713人	35～39	832人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,100人	45～49	1,200人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	953人	55～59	842人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	615人	65～69	380人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	147人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	3人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	210人	25～29	516人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	411人	35～39	355人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	410人	45～49	450人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	330人	55～59	240人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	160人	65～69	74人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	41人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	510人	5～9	650人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	720人	15～19	720人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	470人	25～29	70人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	30人	35～39	10人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	2人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	4人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	7人	65～69	13人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	13人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	470人	5～9	590人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	630人	15～19	675人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	400人	25～29	149人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	290人	35～39	400人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	596人	45～49	636人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	518人	55～59	417人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	281人	65～69	221人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	92人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 被保険者20人未満の事業所が全体の6割を占めている。
- 加入者は40～50歳代が最も多く、被保険者全体の半数を占める。
- 被扶養者は、19歳未満が半数を占めている。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

当健保では、予防可能な疾病を未然に防ぎ、病気の予防、健康の保持・増進を図ることを基本的な考えとして事業を行っている。
また、対象者に節制や我慢を求めるものよりも本人の負担が軽く、参加しやすい、効果の上がる保健事業を積極的に取り入れている。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

疾病予防	雇入（採用）時健診
疾病予防	訪問健康相談事業
体育奨励	健康ウォーキング運動

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	「健保たより」発行
保健指導宣伝	「健保ニュース」発行
保健指導宣伝	健保ホームページ
保健指導宣伝	パンフレット配布
保健指導宣伝	育児図書配布
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	後発医薬品使用促進通知
保健指導宣伝	健康者・健康家庭表彰
保健指導宣伝	健康管理委員活動
保健指導宣伝	ヒューマニーズ相談センター
保健指導宣伝	研修会・講演会の開催
保健指導宣伝	共同保健宣伝
疾病予防	健康支援事業（ぜんそく支援）
疾病予防	人間ドッグ
疾病予防	定期健康診断
疾病予防	胃検診
疾病予防	精密検査
疾病予防	健康相談
疾病予防	栄養相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	家庭常備薬鞆旋補充
疾病予防	健康支援事業（重症化予防）
疾病予防	健康支援事業（受診勧奨）
疾病予防	がん自己検診
体育奨励	プール利用割引
体育奨励	梨狩りハイキング
体育奨励	体育事業補助
その他	契約保養所

事業主の取組

1	定期健康診断、特定及び特殊業務健診
2	健康管理推進委員会
3	健康管理委員

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
疾病予防	5	雇入(採用)時健診	【目的】 採用時健診の充実 新規加入者への健康教育 【概要】 当健保の健康管理室で実施 基本料金3,000円 栄養相談あり	被保険者	全て	男女	18～74	基準該当者	0	管理室受診者 307名 内、再検査受診者 10名 当健保の健康管理室のみで実施しているため、近畿圏外者への対応は難しい状況にある。			4
	6,7	訪問健康相談事業	【目的】 被保険者向け健康相談、健康教育 【概要】 当健保の保健師、管理栄養士が事業所を訪問して健康相談など	被保険者	全て	男女	18～74	全員	0	14事業所 保健師・看護師による 155名 管理栄養士による 41名	・事業所での指導で参加しやすい	・近畿圏のみでの実施のため、近畿圏外者への対応が課題	3
体育奨励	5,8	健康ウォーキング運動	【目的】 運動機会の提供・啓発による健康増進 【概要】 3か月の開催期間中に総歩数100万歩達成を目標。年2回(5～7月、11～1月)	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	1,542	604名	・目標達成者に記念品贈呈	・個人実施の活動のため、継続が困難 ・参加者の固定化	4
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健診	【目的】 40歳以上75歳未満の被保険者及び被扶養者を対象としてメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた生活習慣病の予防 【概要】 40～74歳の被扶養者1,000円を自己負担し残額を補助。平成29年度までには被保険者95%、被扶養者60.5% 計85.0%の実施率を目指す。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	6,604	被保険者：80名 被扶養者：755名 計：835名	・近畿総合健康保険組合協議会の共同事業である巡回型健診の実施	・近畿圏外者への健診体制は手薄になりがちなので今後の対応が課題	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】 メタボリックシンドロームの要因となっている生活習慣を改善し生活習慣病の有病者・予備群を減少させる。 【概要】 当面は被保険者へ実施 利用者の負担なし。当健保の健康管理室で実施	被保険者	全て	男女	40～74	基準該当者	677	被保険者：322名 被扶養者：1名 計：323名	・健保の健康管理室での参加のしやすさ ・利用者負担がないことによる参加しやすさ	・近畿圏のみでの実施のため、近畿圏外者への対応が課題 ・今後改善のための工夫を検討していく。	5
保健指導宣伝	5	「健保たより」発行	【目的】 加入者に対する保健事業の理解・情報提供 【概要】 機関紙として年2回(4月10月)発行。全被保険者に配布。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	1,526	毎年継続実施中			5
	5	「健保ニュース」発行	【目的】 被保険者・事業所への保健事業のPR 【概要】 広報誌として随時発行。 全事業所に配布。	被保険者	全て	男女	0～74	基準該当者	5	毎年継続実施中			5
	2,5	健保ホームページ	【目的】 健保の事業に関する情報提供 【概要】 健保からのお知らせ・健康保険(保険給付)Q&A・健康管理室のご案内・契約保養所・優待レジャー施設などの情報を掲載	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	0	定期的な情報更新を実施			5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	5	パンフレット配布	【目的】 各種制度に関する情報提供 【概要】 疾病予防・社会保険制度・高齢者の医療費節減対策・ジェネリック医薬品PR・特定健診などのパンフレットを配布	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	-	666	毎年継続実施中	-	-	5
	6	育児図書配布	【目的】 育児に関する情報提供・第一子育児時の不安軽減 【概要】 被保険者の第一子誕生時に育児図書を配布	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～ 74	基準該当者	299	毎年継続実施中	-	-	5
	4	医療費通知	【目的】 医療費の情報提供と請求誤りの是正 【概要】 1～12月分の医療費を被保険者に通知	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	694	毎年継続実施中	-	-	5
	8	後発医薬品使用促進通知	【目的】 服用している医薬品の差額を情報提供することで医療費の削減 【概要】 年2回実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	20 ～ 74	基準該当者	794	【平成28年度】年2回のべ1,903名に通知。削減額（効果額）は、約55万円/3か月 見込み。後発医薬品シェアはH28年6月67.60% 7月67.28% 8月67.17%であり、徐々に普及が進んでいる。	実際に服用している薬剤での差額通知	-	5
	8	健康者・健康家庭表彰	【目的】 健康維持に対する意欲の向上 【概要】 1年間の健康者及び家庭に対して記念品を贈呈	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	基準該当者	4,733	平成28年度 個人：1,227名 世帯：28世帯	-	-	5
	1	健康管理委員活動	【目的】 健康管理委員を通じて被保険者や被扶養者に保険制度・疾病予防など健康管理の普及向上を図る。 【概要】 年数回の定期的な概要	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	140	毎年継続実施中	-	-	5
	6	ヒューマンズ相談センター	【目的】 病気の早期発見・早期治療の促進、悩み解決 【概要】 被保険者・被扶養者のお悩み相談窓口として平成24年4月より開設	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	637	相談件数：平均月4回	-	-	5
	5	研修会・講演会の開催	【目的】 健康や健康保険制度などの知識啓発 【概要】 専門家による研修会を開催	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	310	講演会：31名 事務研修会：137名	-	-	5
	2	共同保健宣伝	【目的】 医療保険情報PR 【概要】 健康保険組合連合会と共同でテレビを通じPR	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	592	毎年継続実施中	-	-	5
疾病予防	4	健康支援事業（ぜんそく支援）	【目的】 ぜんそく患者の重症化予防（発作入院の減少） 【概要】 ぜんそく疾患（経験）者に対する自己管理ツールを用いた通信プログラム（6か月間）の実施 費用負担なし	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～ 74	基準該当者	1,396	平成15年度より開始し、これまで140人へ実施してきた。 平成21年度にぜんそく入院レセプトがゼロになったため終了した。 加入者のぜんそくレセプトが開始のため、平成26年度より再開することとした。	・通信教育の手軽さ	-	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	2,3	人間ドッグ	【目的】 検査結果に基づいて生活習慣の見直し、病気の発症を未然に防ぐこと。早期発見・早期治療 【概要】 健康管理室…基本料金10,000円 補助金…10,000円自己負担し、20,000円を限度として補助。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	35,602	●管理室受診者 被保険者 692名 内、再検査に訪れた者 73名 被扶養者 45名 内、再検査に訪れた者 3名 計 737名 ●補助金 被保険者 1,789名 被扶養者 91名	・固定金額及び補助金支給		5
	2,3	定期健康診断	【目的】 検査結果に基づいて生活習慣の見直し、病気の発症を未然に防ぐこと。早期発見・早期治療 【概要】 健康管理室…基本料金 A 1,500円 B 3,000円 (35歳、40歳以上) 補助金…39歳以下 (35歳を除く) 1,500円を限度として補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	6,128	●巡回健診車及び管理室受診 4,599名 ●他医院受診 2,715名 (補助金 2,598名 再掲)	・巡回バス等による事業所単位での参加	・欠勤による後日受診が困難 ・受診意識の向上	4
	-	胃検診	【目的】 胃がんの早期発見・早期治療 【概要】 健康管理室…利用料金1,000円 補助金…500円自己負担し、3,500円を限度として補助。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	434	平成28年度 ●管理室受信者 28名 ●補助金 被保険者 125名 被扶養者 1名	・巡回バス等による事業所単位での参加	・欠勤による後日受診が困難 ・受診意識の向上 ・検診の周知	5
	3	精密検査	【目的】 再検査、精密検査該当者の病気の早期発見・早期治療 【概要】 雇入(採用)時健診、定期健康診断、人間ドッグの再検査及び精密検査	被保険者	全て	男女	4 ～ 74	全員	1,473名 0 精密検査の該当者数は年々増加傾向にある。		・健康管理室での実施による受診しやすさ	・無自覚症状者の理解不足 ・該当者の確実な再検査・治療・生活習慣の改善 ・事業所の協力	4
	6	健康相談	【目的】 病気の早期発見・早期治療 悩みの解決 【概要】 医師・保健師・看護師による相談	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	0	被保険者 474名 被扶養者 0名	・健康管理室での実施による受診しやすさ ・アフターフォローが容易	・近畿圏外のみでの実施のため、近畿圏外者への対応が課題	4
	2,6	栄養相談	【目的】 栄養に関する相談・悩みの解決 【概要】 管理栄養士による相談	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	0	被保険者 364名 被扶養者 5名	・健康管理室での実施による受診しやすさ ・アフターフォローが容易	・近畿圏のみでの実施のため、近畿圏外者への対応が課題	5
	3	インフルエンザ予防接種	【目的】 インフルエンザ 患者者の減少 患者者の重症化の軽減 【概要】 1人につき年1回、1回につき2,000円を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	10,027	被保険者 2,484名 被扶養者 2,572名	・補助金支給		5
	3	家庭常備薬斡旋補充	【目的】 家庭常備薬の充実による疾病の自己管理の向上 【概要】 夏期、冬期の疾病予防対策として医薬品の一部負担補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	4,425	夏期 4,674名 冬期 4,464名	通年を通して被保険者割合の過半数を占め、自己管理意識の高さを確認できた。		4
	3	健康支援事業(重症化予防)	健診結果で生活習慣病受診勧奨レベルの未受診者を受診・治療へ促進し、重症化の予防	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	基準該当者	399	4月～7月の健診データに基づき未受診者に手紙や電話による勧奨(2月～3月)	電話による直接コミュニケーションと疾病への理解の深まり	健診時と受診勧奨時をできるだけ短くしたタイムリーな受診勧奨の方が効果が高いと思われる。	3
	4	健康支援事業(受診勧奨)	【目的】 健診結果で生活習慣病の受診勧奨レベルの未受診者を受診・治療へ促進し、重症化の予防 【概要】 手紙及び電話による受診勧奨	被保険者	全て	男女	40 ～ 74	基準該当者	0	・55人の未受診者のうち52人受診を確認した。 ・103事業所へ案内 総発送人数 461名 返信人数 283名	電話による直接コミュニケーションと疾病への理解の深まり	健診時と受診勧奨時をできるだけ短くしたタイムリーな受診勧奨の方が効果が高いと思われる。	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3	がん自己検診	【目的】 ガンの早期発見・早期治療 【概要】 4月～10月 年度内1回限り、2項目まで受診可能	被保険者 被扶養者	全て	男女	25 ～ 74	全員	245	受診件数 116件	簡単な採取方法	認知度の促進	2
体育奨励	8	プール利用割引	【目的】 運動機会の提供・啓発による健康増進 【概要】 夏期に京阪神の主なプールの利用割引券を斡旋	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員		毎年1500枚を配布しており、利用者に好評である。今後も継続予定。	・複数施設を選択可能のため、利用が容易		5
	8	梨狩りハイキング	【目的】 運動機会の提供・啓発による健康増進 【概要】 秋期にハイキングを兼ねた梨狩りを開催（於龍水園）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	821	560名 毎年参加人数が増加しており、好評である。今後も参加者の増加により健康増進を目指す。	・レジャーを兼ねることによる参加しやすさ		5
	8	体育事業補助	【目的】 運動機会の提供・啓発による健康増進 【概要】 各業界組合が開催する体育事業に対して一部負担補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	146	3件 業界あての補助を行っている。今後も現状維持で継続予定。	・既存団体の実施イベントの活用		5
その他	8	契約保養所	【目的】 心と体のリフレッシュによる健康増進 【概要】 健康保険組合連合会契約旅館・国内宿舎の利用者に対して補助 補助金・・・被保険者 2,500円 被扶養者 1,500円	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	259	被保険者 50名 被扶養者 61名			3


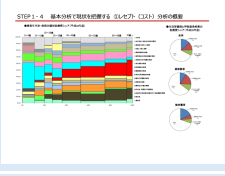

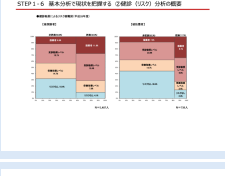
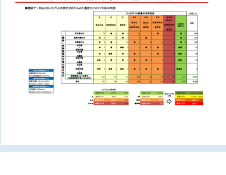
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断、特定及び特殊業務健診	<p>【目的】 検査結果に基づいて生活習慣の見直し、病気の発症を未然に防ぐこと。早期発見・早期治療</p> <p>【概要】 安衛法に基づき実施</p>	被保険者	男女	18 ～ (上限なし)	各事業主において実施している取り組み及び組織体制を詳細・正確に把握していない。健診受診率100%を目指している。	-	-	無
健康管理推進委員会	<p>【目的】 各事業主からの意見徴収、健保からの情報提供など、交流の場</p> <p>【概要】 各8業態より代表各1名が参加 代表が各事業所の健康管理委員へ情報提供する。</p>	-	-	- ～ -	<p>●健康管理推進委員会 平成28年7月6日（6名） 平成28年12月13日（5名） 平成29年3月2日（6名） 平成28年度事業報告、平成29年度事業計画及び健保組合の概要説明</p>	-	-	有
健康管理委員	<p>【目的】 各事業所から加入者への情報提供などの機能を果たす。</p> <p>【概要】 各事業所より代表1名 保健制度・疾病予防などの健康管理の指導を行う。</p>	-	-	- ～ -	各事業主の取り組みは詳細・正確には把握していない。	-	-	有

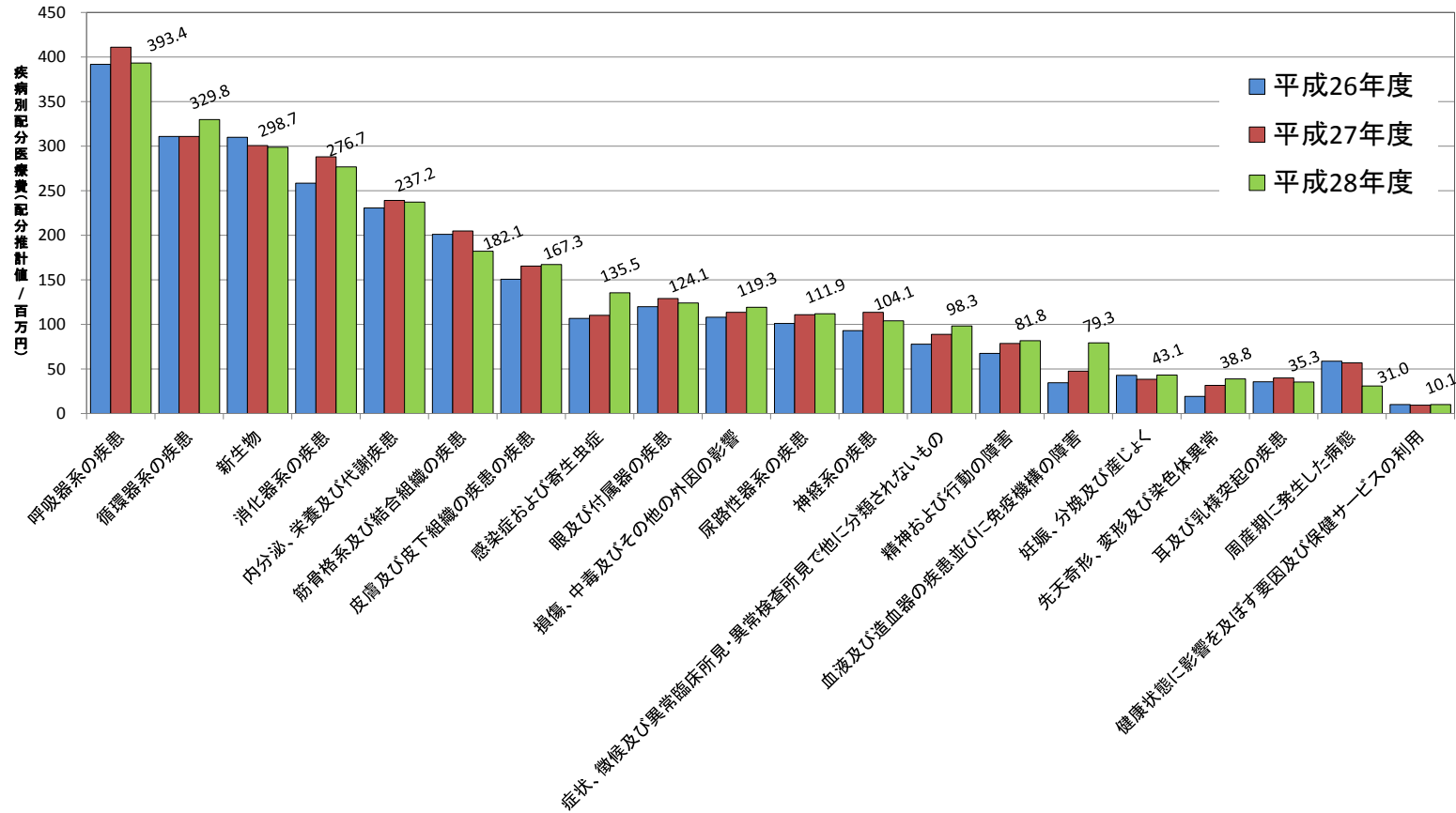
STEP1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		基本分析で現状を把握する ①レセプト(コスト)分析の概要	医療費・患者数分析	-
イ		基本分析で現状を把握する ①レセプト(コスト)分析の概要	医療費・患者数分析	-
ウ		基本分析で現状を把握する ②健診(リスク)分析の概要	健康リスク分析	-
エ		基本分析で現状を把握する ②健診(リスク)分析の概要	特定保健指導分析	-
オ		基本分析で現状を把握する ②レセプトと健診(リスク)分析の突合	健康リスク分析	-

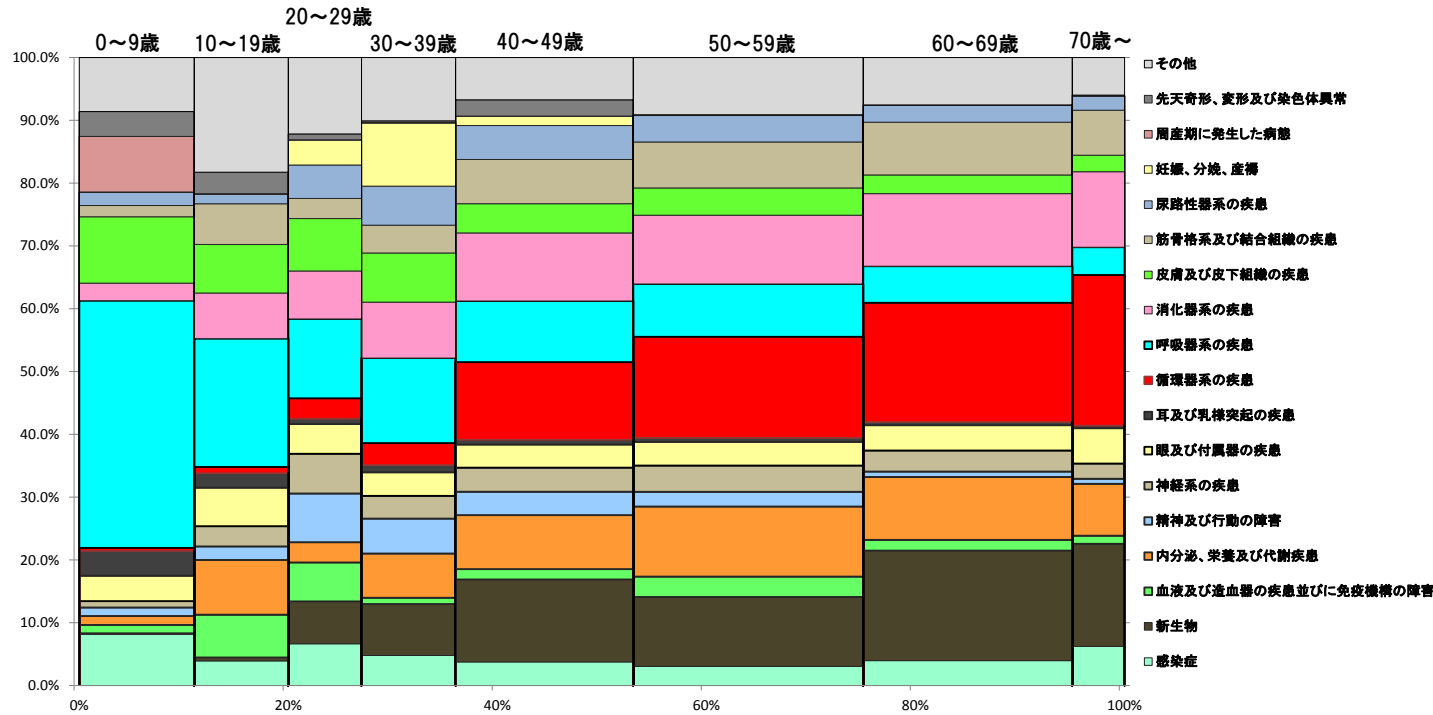
STEP 1 - 3 基本分析で現状を把握する ①レセプト（コスト）分析の概要

●疾病別配分推計医療費

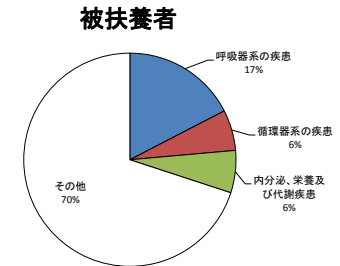
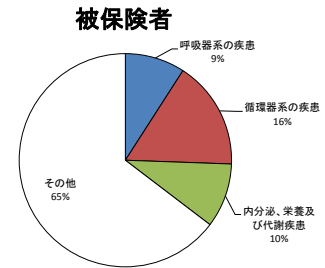
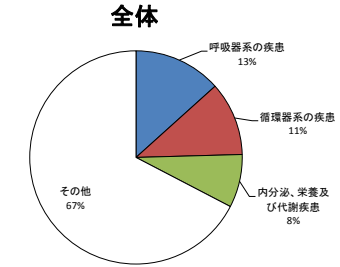


STEP 1 - 4 基本分析で現状を把握する ①レセプト（コスト）分析の概要

●患者年代別・疾病分類別医療費シェア（平成28年度）



●生活習慣病と呼吸器系疾患の医療費シェア（平成28年度）

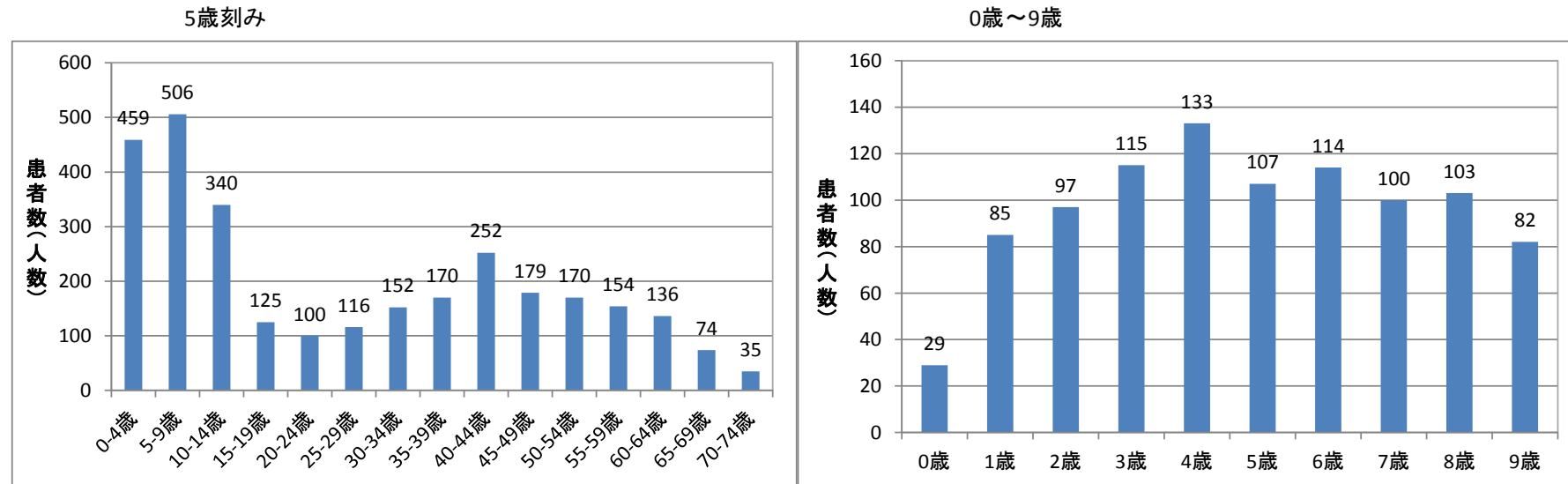


STEP 1 - 5 基本分析で現状を把握する ②健診（リスク）分析の概要

●ICD-10 3桁分類ベースでみた喘息の患者数

呼吸器系の疾患	全体			被保険者			被扶養者			前期高齢者		
	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
喘息	2,866	3,048	2,955	878	999	1,001	1,988	2,049	1,954	89	110	109
喘息発作重積状態	95	92	94	21	26	21	74	66	73	2	4	2

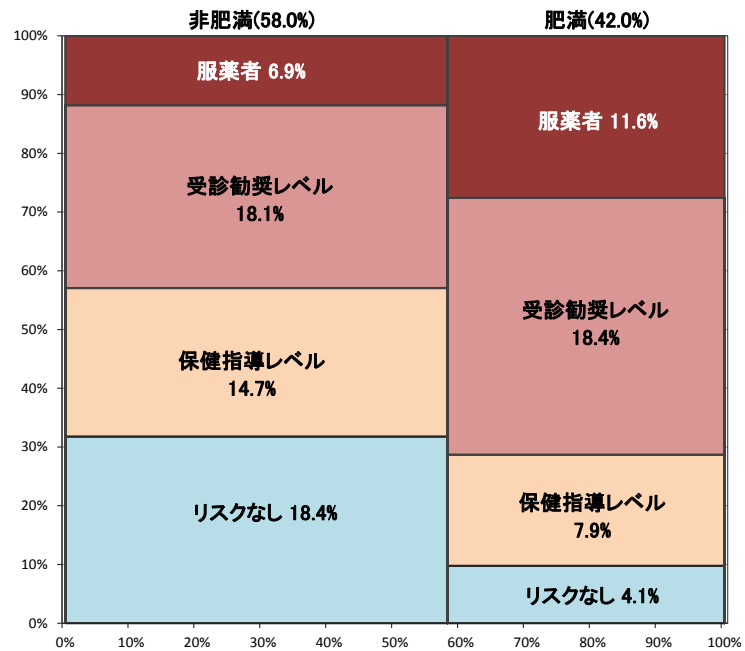
●年齢別喘息患者数



STEP 1 - 6 基本分析で現状を把握する ②健診（リスク）分析の概要

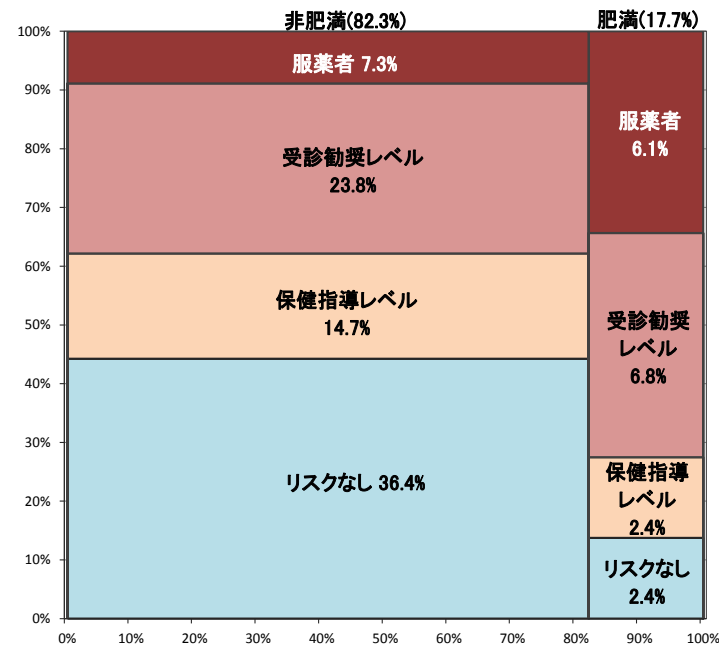
●健診結果によるリスク俯瞰図（平成28年度）

【被保険者】



N=5,487人

【被扶養者】



N=739人

STEP 1 - 7 基本分析で現状を把握する ②レセプトと健診（リスク）分析の突合

●健診データおよびレセプトとの突合分析からみた重症化リスク(平成28年度)

		(レセプト)3疾患の合併状況							(単位:人)	合計
		▲ 高血圧症	▲ 脂質異常症	▲ 糖尿病	▲▲ 高血圧 + 脂質異常症	▲▲ 高血圧 + 糖尿病	▲▲ 脂質異常症 + 糖尿病	▲▲▲ 高血圧 + 脂質異常症 + 糖尿病		
(健診)受診勧奨判定値の複合状況	血圧値のみ	78	● 11	● 0	24	8	● 2	10	● 172	305
	脂質代謝のみ	● 9	34	● 0	6	● 1	2	2	● 173	227
	血糖値のみ	● 6	● 3	43	● 9	46	48	99	● 90	344
	血圧値 + 脂質代謝	● 2	● 1	●● 0	6	● 0	● 1	0	●● 9	19
	血圧値 + 血糖値	● 3	●● 1	● 2	● 0	4	● 3	18	●● 12	43
	脂質代謝 + 血糖値	●● 0	● 3	● 2	● 1	● 0	2	4	●● 4	16
	血圧値 + 脂質代謝 + 血糖値	●● 0	●● 0	●● 0	● 0	● 1	● 0	0	●●● 1	2
	受診勧奨リスク対象外 (対象検査値が無い分も含む)	333	271	53	263	52	65	122	4,111	5,270
合計	431	324	100	309	112	123	255	4,572	6,226	

高血圧受診勧奨リスク
収縮期血圧 ≥ 160mmHg または拡張期血圧 ≥ 100mmHg
糖尿病受診勧奨リスク
空腹時血糖 126 (mg/dL)以上 またはHbA1c (NGSP) 6.5%以上
脂質異常受診勧奨リスク
中性脂肪 ≥ 1000mg/dL またはLDLコレステロール ≥ 180mg/dL

レセプト上の有病者			追加リスクを 加算		
▲▲▲ 有病リスク0	4,572人	73.4%	●●● 追加リスク0	5,704人	保有リスク0 4,111人 66.0%
▲▲ 有病リスク1	855人	13.7%	●● 追加リスク1	495人	保有リスク1 1,247人 20.0%
▲▲ 有病リスク2	544人	8.7%	●● 追加リスク2	26人	保有リスク2 593人 9.5%
▲▲▲ 有病リスク3	255人	4.1%	●●● 追加リスク3	1人	保有リスク3 275人 4.4%